



使用範囲

コンデensingユニットは下表の範囲でご使用下さい。

使	用	冷	媒	R 22
凝	縮	器	吸 込 空 気 温 度	-5 ~ 40
吸	入	圧 力 飽 和 温 度		-40 ~ 5
吸	入	圧 力		0.004 ~ 0.48MPa
吸	入	ガ ス 過 熱 度		2K 以上
吐	出	ガ ス 温 度		吐出管表面で 110 以下
圧 縮 機	電 動 機 巻 線 温 度			120 以下 (抵抗法)
	ハ ウ ジ ン グ 底 部 温 度			110 以下
	発 停 頻 度			1 時間に 10 回以内 (可能な限り少なくして下さい。)
冷 媒	封 入 制 限 量			3.5kg 以下 (配管長 = 20m の場合)
配	管 長			総長 : 20m 以内, 高低差 : 7m 以内
電 源 電 圧	電 圧 変 動			200V ± 10%
	相 間 ア ン バ ラ ン ス			3 % 以内
ユ ニ ッ ト	取 付 姿 勢			傾き 5 度以内
輸 送	機 間 搭 載			自動車, 鉄道車両, 船舶は搭載不可
運 転 上 の 注 意 事 項				(1) ポンプダウン方式による運転制御は絶対にしないで下さい。 (2) 低圧圧力スイッチの設定値 (-0.013MPa) は絶対に変更しないで下さい。 (3) 圧縮機の自力真空運転は絶対にしないで下さい。 (4) 真空状態のまま圧縮機を運転しないで下さい。 (5) エットを空気運転しないで下さい。 (6) 冷媒充填は原則として液操作弁側から行って下さい。 (7) 冷凍機油は絶対に追加しないで下さい。 (8) 圧縮機は高精度の部品から構成されているため、異物の侵入には細心の注意を払って下さい。 (9) 冷媒回路にガス漏れがないことを確認して下さい。 (10) 始動がスムーズで、振動、異常音がないことを確認して下さい。 (11) 甚だしい液バック運転、過熱運転はしないで下さい。 (12) 凝縮器は毎月 1 回程度掃除して、常にフィンはきれいにして下さい。